



ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

安全上の ご注意



必ずお守りください




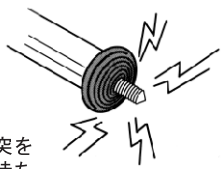





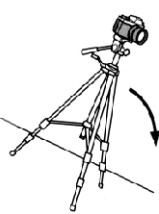





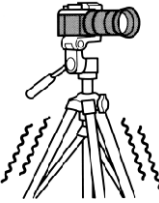




お使いになる人や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性・または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告		 注意	
 	スパイク付石突を備えた三脚を持ち運ぶときは、安全のためスパイクを出さないでください。死亡や大ケガの原因となります。	 	脚を開閉するときは、十分に注意してください。あやまって指をはさむとケガにつながります。慌てずによく確かめて操作してください。
 	カメラを載せたまま脚の伸縮調整や雲台の操作をするときは、カメラ本体を必ず手で支えながら行ってください。三脚やカメラが不意に動き、カメラを破損したり手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。	 	ぐらついた台の上や傾斜面など、不安定な場所で使用する場合は十分に注意してください。特に高位置での使用の場合、頭や足の上などに落下すると、死亡や大ケガにつながる恐れがあります。
 	三脚にカメラを装着したままでの移動は、お避けください。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。	 	各々のネジや固定レバーは、必要なおとき以外は確実に固定してご使用ください。ネジや固定レバーがゆるんでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。
 	三脚の自重の2倍を超えるカメラの使用は、安定性を損ないますのでお避けください。カメラブレの原因となったり、三脚が転倒する恐れがあります。	 	三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないでください。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。
 <ul style="list-style-type: none"> ● 小さなお子様の手の届く所には、設置・保管しないで下さい。手をはさんだり倒れたりして、ケガをする恐れがあります。 ● 三脚は、金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので通電します。電気の側や高圧線の近くでの使用は避けてください。また、落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないでください。 ● 三脚の上には絶対に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒し死亡や大ケガにつながります。 ● 寒冷地でご使用される場合は金属部が凍結する恐れがありますので、素手で操作しないでください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● カメラを取り付けた状態で、不安定な場所に放置したり立てかけたりしないでください。転倒の恐れがあります ● 夏季など高温になる自動車内等には放置しないでください。オイル漏れや故障の原因となります。 ● 寒冷地でご使用される場合は十分な性能が発揮されない場合があります。特にビデオ用オイルフリード雲台では、パン・ティルトの動作が重くなったり動かなくなることがあります。 ● 三脚を携帯するときは、部品の脱落防止のため各々のネジ等を、しっかり締めつけて持ち運びしてください。 ● 写真機、ビデオ、望遠鏡等での撮影・観察以外の目的で使用しないでください。 		

お手入れについて

- ご使用後は、必ず湿った布で汚れを拭きとった後に、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に海岸および温泉地でのご使用後は、そのままの状態では放置すると錆びや故障の原因となります。
- 脚パイプに水や砂がついたまま脚をたたむと、重なった脚パイプの隙間に詰まってしまう、伸縮が固くなったりできなくなったりする恐れがありますのでご注意ください。
- 清掃の際はシンナー等の薬品は使わないで下さい。

アフターサービス

- 修理または部品を紛失した場合は、販売店か弊社サービス部へ直接お問い合わせください。本製品の性能部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しております。※この期間後であっても修理可能な場合もあります。※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元などを変更することがありますのでご了承ください。

ベルボンお客様ご相談センター
0551-25-6155

Velbon

シェルパ
Sherp 638

取扱説明書

正しく安全にお使いいただくため、
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

便利メモ

※おぼえのため記入されると便利です。

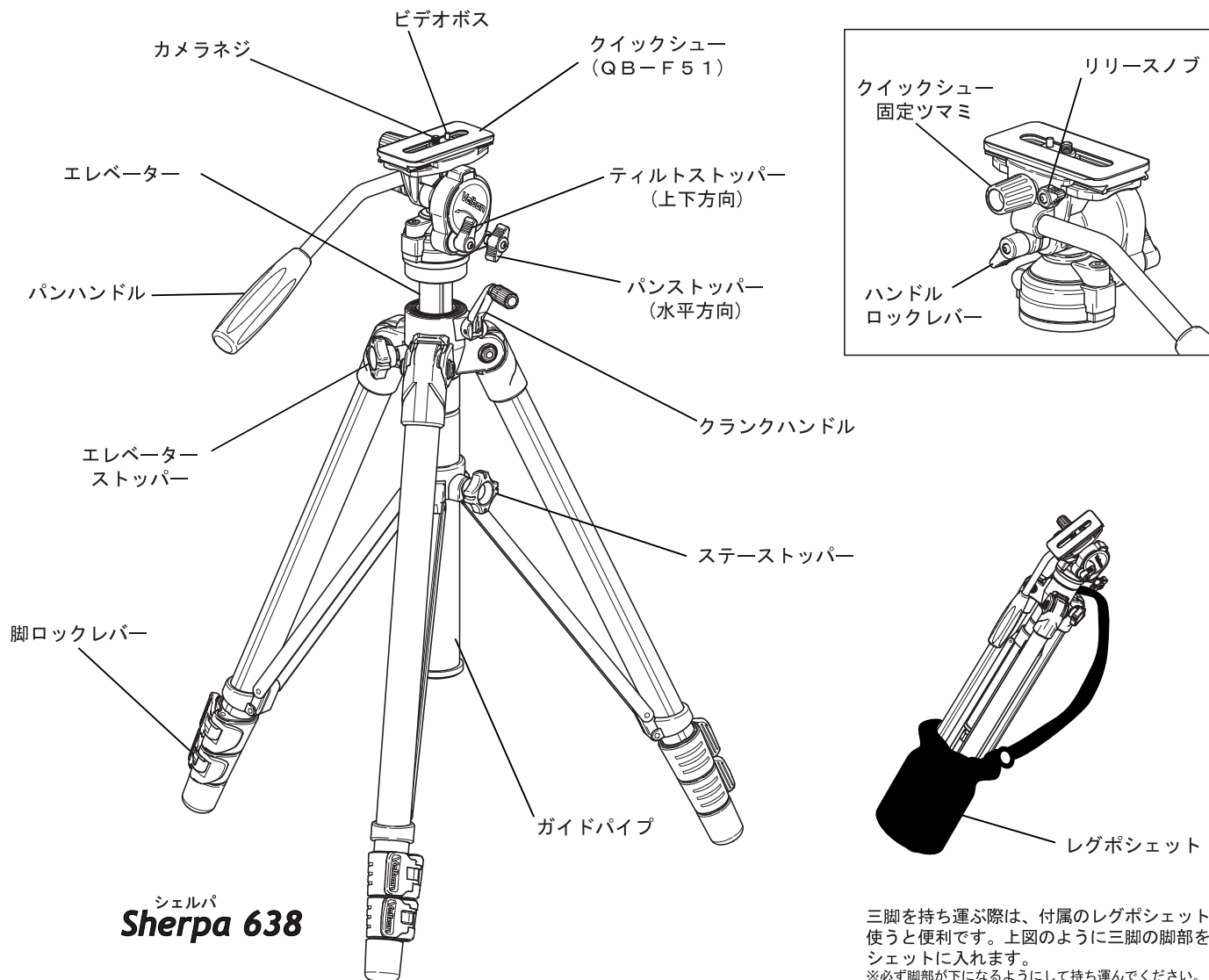
お買い上日	年	月	日
販売店名			
(電話)			

製造・販売 サービス **ベルボン株式会社**
〒165-0027 東京都中野区野方6-1-5
電話: 03-5327-6133 FAX: 03-5327-6114
ホームページ: <http://www.velbon.com>

Velbon

各部の名称

このたびは、ベルボン三脚をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



シェルパ
Sherpa 638

三脚を持ち運ぶ際は、付属のレグポシェットを使うと便利です。上図のように三脚の脚部をポシェットに入れます。
※必ず脚部が下になるようにして持ち運んでください。雲台が下になるとポシェットが抜けてしまい危険です。

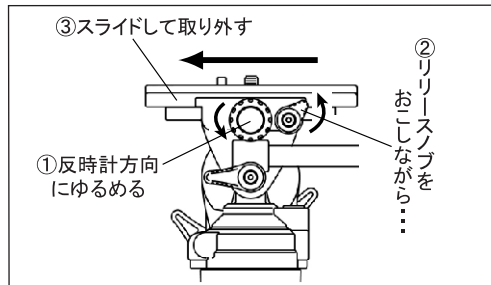
仕様

	Sherpa 638
雲台	FHD-61Q
全高	約 1,601mm
エレベータースライド*	約 240mm
縮長	約 700mm
質量	約 3,195g
脚パイプ径	29・26・23mm
段数	3段
最大積載カメラ質量	3.5kg

★^{シェルパ}Sherpa 638は……

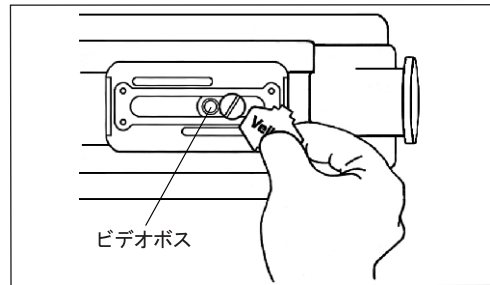
フィールドスコープや望遠レンズ搭載時のバランス調整が可能なスライドクイックシュー付アルミダイカスト製雲台付。ハスバギアによるスムーズなエレベーター上下動とレバー式脚により迅速なセッティングが可能。安定性の良いステア付き中型アルミ製三脚でビギナーからプロフェッショナルまで幅広いニーズにお応えいたします。

カメラの取り付け方①



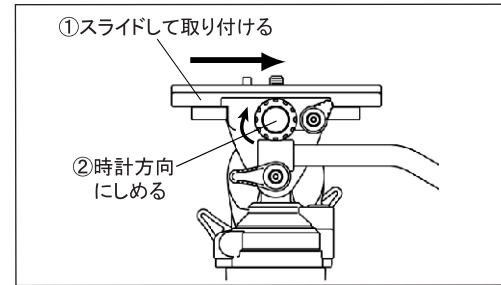
①クイックシュー固定つまみを反時計方向にゆるめ、
②リリースノブを上図矢印方向におししながら、
③クイックシューをスライドさせて取り外します。

カメラの取り付け方②



クイックシューをカメラ裏側のネジ穴に合わせ、付属のネジ回してしっかりと固定します。この時ビデオポスがポス穴に合うように取り付けてください。ビデオポスは押されるとへこみますので、ポス穴の開いていないカメラにも取り付けすることができます。

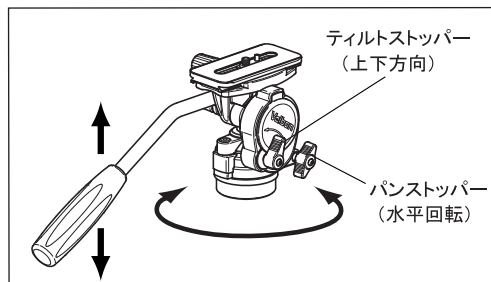
カメラの取り付け方③



①クイックシューをスライドして取り付け、②クイックシュー固定つまみを時計方向に回してしっかりと固定します。

リリースノブが元の位置に戻り、クイックシューが**確実に固定されている事を確認してください。**

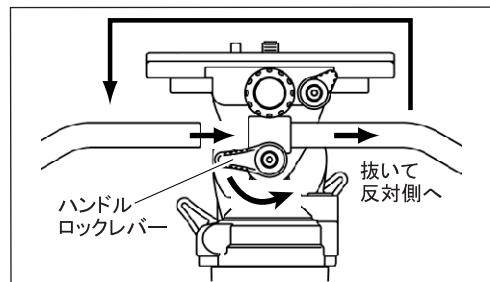
雲台の使い方



ティルトストッパーをゆるめると、カメラを上下方向へ向けることができます。パンストッパーをゆるめると、カメラを水平方向へ向けることができます。構図が決まった位置で各ストッパーをしめて固定します。

操作前に雲台が三脚に確実に取付いている事を確認してください。

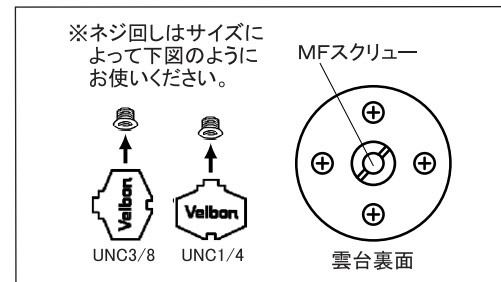
4ポジションハンドル



ハンドルロックレバーを上図矢印方向にゆるめると、パンハンドルを外して反対側から付けることができます。パンハンドル位置はカメラに合わせて、左手前・右手前・左前方・右前方の4つが選べます。

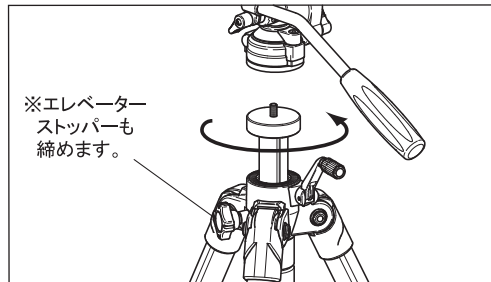
ハンドルを抜いた状態でハンドルロックレバーを締め付けしないでください。

三脚取り付けネジ穴



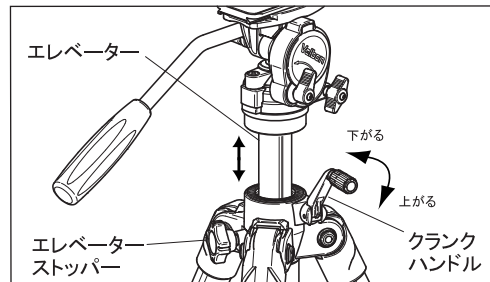
雲台の三脚取付ネジ穴は、ご購入時はUNC1/4インチ用となっています。UNC3/8インチの三脚に取り付ける場合は、付属のネジ回しでMFスクリューを交換してください。MFスクリューはゆるみ止め処理がされています。交換時にゆるめる際は固めになっています。

雲台を交換するには



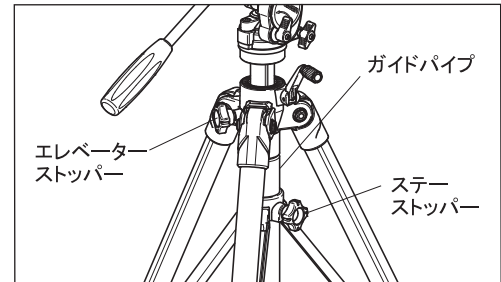
三脚から雲台を外すには全てのストッパーやハンドルをしっかりと締め、雲台全体を上図矢印方向に回すと外れます。交換する雲台には、三脚取付ネジがUN1/4サイズのものをお選びください。

エレベーターの昇降



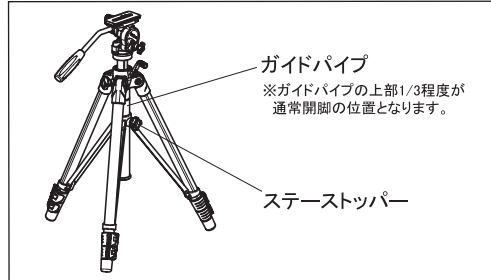
エレベーターを昇降するには、エレベーターストッパーをゆるめてからクランクハンドルを回して行きます。必要な高さでエレベーターストッパーを締め、もう一度固定します。(エレベーターの操作は、必ず機材に手を添えながら行ってください)

昇降固さ調整機能



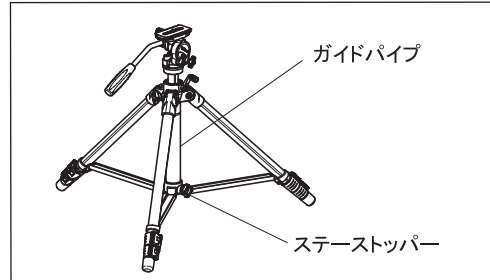
エレベーター昇降の際、ステーストッパーをゆるめ、ガイドパイプを回すことによって昇降の固さを調整することができます。(ゆるめ過ぎに注意してください)。

開脚角度の調整①



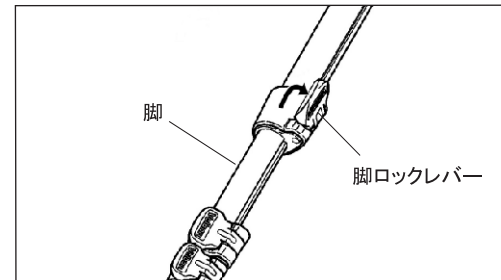
ステーストッパーをゆるめて脚を開きます。通常開脚の場合は、ステーストッパーがガイドパイプの上部1/3程度の位置にくることを目安としてください。

開脚角度の調整②



ステーストッパーがガイドパイプ下端の位置にくるまで脚を開くとローポジションとなります。

脚の伸縮



脚の長さを調整する時は、右手の親指で脚ロックレバーを起し、上の段から順に伸ばしてください。脚の長さが決まったらバーを押さえてロックします。縮める時は逆に下の段から順にしまってください。